

# Cisco IOS および Cisco Content Engine ソフトウェアの WCCP サポート

## 目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[Cisco IOSソフトウェアに対するWCCP サポート](#)

[Cisco Cache Engine ソフトウェアに対するWCCP サポート](#)

[関連情報](#)

## 概要

ドキュメントでは、Cisco IOS® ソフトウェアおよび Cisco Content Engine ソフトウェアに対する Web Cache Communication Protocol ( WCCP ) のサポートについて説明します。WCCP は、次の表に示すすべてのサポート対象プラットフォームのソフトウェア交換パス内で実装されます。WCCP は、プロセス、ファースト、および Cisco Express Forward ( CEF ) ベースの転送パスに使用できます。

Cisco によって開発される WCCP は 1 つ以上の ルータ ( またはレイヤ3スイッチ ) 間の相互対話、と 1 つ以上の Web キャッシュを規定します。相互対話はルータのグループによってトラフィック フローの選択されたタイプの透過的なリダイレクションを確立および維持します。選択したトラフィックは最適化リソース使用の目標を用いる Web キャッシュのグループに低下応答時間リダイレクトされ。

## [はじめに](#)

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

### [前提条件](#)

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## [Cisco IOSソフトウェアに対するWCCP サポート](#)

[Cisco IOS 機能ナビゲータ](#)（[登録ユーザのみ](#)）ツールの使用によってそれぞれ WCCP バージョン（バージョン 1（v1）またはバージョン 2（v2））のためのルータのプラットフォームおよび Cisco IOS ソフトウェア リリースを確認できます。

## [Cisco Cache Engine ソフトウェアに対するWCCP サポート](#)

下記の表は WCCP のどんなバージョンがそれぞれ Content Engine ソフトウェアでサポートされるか示します。

WCCP バージョン	Content Engine バージョン
WCCPv1	任意
WCCPv1 WCCPv2	1.76 またはより高い

## [関連情報](#)

- [WCCP機能拡張](#)
- [Content Engine 500 シリーズ 製品サポートページ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)